

子どもたちがたのしみにしていました「**こどものもりハロウィン2023**」！は皆様のご協力により子供たちにとっても良い思い出になり、今後の園生活において、自ら考え、行動することへ意欲的の取り組み一助となることを願っています。

今年はファッションショーの日、パレードの日と子どもたちに無理がないようにと2日間に分かれて行いました。30日(月)の会場は太陽の部屋。舞台の上と一段高くなった通路ランウエイ(通路)は子どもたちが作ったハロウィンの飾り、まわりの客席には衣装を着た子どもたちという、ちょっといつもとは違う雰囲気となりました。グループ毎に着替えをすっきりなりきっている子どもたちでした。



最初はちゅうりっぷぐみさん・こすもす組さんは舞台の上で一列になり「はい！ポ～ズ！」その後は、先生たちの代表が登場。

そしてほし組・そらぐみの子ども達が客席で同じ仮装グループ毎に順番を待ち、一人ずつマイクの前で「名前・何に仮装しました」と話しポーズをしている姿は真剣そのものの子、ちょっと恥ずかしそうにしながらもポーズする子。ランウエイをすっきりなりきって歩く姿、姿。音の合図で「はい！ポ～ズ！」に大きな拍手と小さい子たちの顔はお兄さんお姉さんの仮装にビックリして、じ～と見入る姿がありました。



ちゅうりっぷ組さんの衣装は各ご家庭で用意していただきありがとうございました。大喜びの子どもたち！こすもす組さんは「～になりた～い！」と衣装づくりに年長さんと先生の手助けの下で作り上げた衣装にご満悦でした。お兄さんお姉さんの扮装に知っているアニメが出てくるとちょっと興奮気味に目を輝かせてじ～と見つめている姿がありました。

一人ひとりが主役でそのものになりきった姿に会場からは思わず「わ～かっこいい！」「ステキ！」の声が上がってちょっと興奮気味ではありましたが、これからの生活の中で、「自分でイメージを持って表現していく」機会のなってくれることを願っています。また、今年は全園児給食として、調理室では「ハロウィンメニュー」を考えてくださり、食後のデザートには「かぼちゃゼリー」もおいしく味わいました。

### 本日はそらぐみ・ほし組は「おいもほり」でした。

グループ毎に年少児さんは往復園バスで、年長児と年中児さんは片道のみ畑まで全員歩いて行きました。50分位で途中疲れてしまう子もいましたが、頑張りました。



畑では白い線の中に座り掘り始めました。すぐに掘り出す子、そろ～っと土を触り、こわこわと土を掘る子、気持ちはあるが力が出せない子、黙々と掘る子等々・・・  
それぞれの姿を見せながらおいもを掘りました。「大きいのが出てきた！」「ちびいもちゃんだね！」「なかなか出てこないね！」とニコニコ顔で見せてくれる子どもたちでした。今年猛暑会ったため、掘って見たらなかなかお芋が出てこない場面もありました。

グループごとに記念写真を撮り、「よっころショッ！」「重いね」「持てないよ～！」と言いながら満足した顔でコース旗まで自分で運んでいました。お芋は例年より少ないですがどの子も同じくらい持ち帰れるように工夫しました。



今回もロータリークラブの役員の方1名と一緒に海外からの交換留学生が3人の方が各地からボランティアで来てくださいましたので、大変スムーズに終わることができました。お手伝い下さった方々に感謝申し上げます。

子どもたちが持ち帰りましたお芋は子どもから今日の話聞きながらご家庭で美味しいおいも料理を作っていたら何よりです。

園のお芋は少ないですがこれからクッキングコーナーで活躍しそうです。子どもたちと相談してお芋クッキングが始まります。どんなお芋メニューを考えるのか楽しみにしています。ご家庭でも子どもと相談して一緒にクッキングする良い機会となっただけであればうれしいです。11月には珍しい陽気となりましたので、園庭の木陰でお弁当を美味しく食べました。

### ちゅうりっぷ・こすもす組は園内で「おいもほりごっこ」をしました。

大きい子たちが出かけしていくのを園庭で見送り、その後は園の畑で「本物のおいも」と「先生が作ったおいも」を使って「お芋ほりごっこ」をしたりして楽しみました。十分に体を動かした後のママお手製のお弁当はどの子もとてもうれしそうに本日は園庭で食べました。

いっぱい歩いて、いっぱい遊んで、お腹がすくと食欲も増し、食べることへの意欲もわいてくる子どもたちです。お弁当のご協力ありがとうございました。